

財政事情に関する公表書

豊能町の令和6年度・令和7年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和7年8月1日

豊能町長 上 浦



我が国の景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

本町では、人口の減少や高齢化による影響で、主要な自主財源である町税の減少傾向が続いており、依然として歳入の67%を地方交付税などの依存財源に頼る状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが一斉に更新時期を迎え、歳出面の財政負担が増加傾向にあります。現在実施中の小中一貫校施設整備や今後実施予定の公共施設の再編等により、今後も多額の財源が必要となり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

本町では、このような厳しい財政状況においても基金の取り崩しに頼ることのない健全な財政運営を目指すために、「豊能町新たな行財政改革推進計画」を策定しました。

その中で、「行政経営の改革」、「施設運営の改革」、「財政運営の改革」、「組織体制の改革」の4つの取組区分を柱として、具体的な取組項目及び内容をまとめており、計画の実現に向けて町全体で取り組んでいく予定です。

令和6年度の一般会計決算見込みは、歳入総額につきましては89億4,827万4千円で、対前年度10億970万1千円、12.72%の増、歳出総額につきましては83億7,864万1千円で、対前年度10億1,636万7千円、13.81%の増となっております。形式収支につきましては、5億6,963万3千円の黒字となっております。実質収支につきましては、令和7年度に繰越すべき額である4,862万6千円を差し引き、5億2,100万7千円の黒字となっております。

また、令和7年6月末現在における令和7年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み112億5,983万5千円で、前年度同期と比較して23億2,569万6千円、26.0%の増となっています。6月末現在での収入済額は、29億4,811万8千円で、前年度同期と比較して5,626万2千円、2.0%の増、支出済額は、13億5,603万2千円で前年度同期と比較して1,769万9千円、1.3%の増となっています。

その他の詳細については、別添のとおりです。